

気象警報等の発令時及び大規模地震発生時の対応について（平成 27 年度作成最新版）

学校では、大雨、大雪、地震、火山などの災害からお子様を守るため、特別警報・警報の発令や大規模地震が発生した場合の対応を次のとおりとしておりますので、保護者の皆様や関係機関の方々にお知らせいたします。

1 大雨・暴風・大雪に対する特別警報・警報が発令された場合

	特別警報・警報等の内容	対応	学校からの連絡
在宅時	台風の進路から前日に大雨・暴風等が予想される場合	学校から対応について通知します。	通知文、電話連絡・安心メール
	三浦半島(横須賀・三浦・逗子・葉山)に、午前5:30現在で大雨・暴風・大雪特別警報・警報が発令されている場合	気象情報を確認し、状況に応じて臨時休業のお知らせをします。	電話連絡・安心メール
	大雨・暴風警報や大雪警報は発令されていないが、台風や雪の影響で登下校に不安がある場合	学校は休みませんが、保護者からの連絡により、登校しなくても欠席にはなりません(自宅学習)。	必要に応じて電話連絡・安心メール
在校時	学校にいる時に、大雨・暴風・大雪特別警報・警報が発令された場合	道路状況・交通機関等の影響等を総合的に判断した上で保護者へ連絡し早期下校・お迎え等の対応をします。	電話連絡・安心メール

2 火山災害に対する特別警報・警報が発表された場合

	特別警報・警報等の内容	対応	学校からの連絡
在宅時	噴火警報	三浦半島に噴石や火砕流等の被害が及ぶと判断された場合、臨時休業となります。	電話連絡・安心メール
	降灰予報 (「やや多量」以上の降灰が予想される場合)	学校は臨時休業となります。	電話連絡・安心メール
在校時	噴火警報	道路状況・交通機関等の影響等を総合的に判断した上で保護者へ連絡し早期下校・お迎え等の対応をします。	電話連絡・安心メール
	降灰予報 (「やや多量」以上の降灰が予想される場合)	道路状況・交通機関等の影響等を総合的に判断した上で保護者へ連絡し早期下校・お迎え等の対応をします。	電話連絡・安心メール

3 大規模地震（震度5弱）が発生した場合または、大津波警報発令、大規模停電が起こった場合。（※東海地震「警戒宣言(レベル 赤)」発表時も同様）

	地震発生時点	対応	学校からの連絡
A 在宅時 (夜間・休日含む)	1 地域の防災無線 やラジオ等で正しい情報を収集	(ア)学校は臨時休業となります。 安全を確認し、低い土地の方は高台へ避難します。 家族の安否確認	①電話等が使える場合は安否を知らせてください。 ＜災害用伝言ダイヤル＞
B 登校時	1 S B乗車前 2 電車・バス乗車前	(ア)自宅に戻ります。 ※S B＝スクールバス	①電話が使える場合は学校から安否確認をします。 ＜災害用伝言ダイヤル、安心メール＞
	3 S B乗車後	＜S B運行中＞ (ア)S Bは安全な場所に停止し学校へ連絡、指示を受けます。安全に運行できる場合は学校へ向かい、学校へ向かうことができない場合は、	①状況に応じてS Bへ学校から援助隊を派遣します。 ＜S B災害用伝言ダイヤル＞

<p>B 登校時</p>	<p>4 徒歩通学中 5 電車・バス乗車後</p>	<p>近くの避難場所へ移動します。海岸線を走行するバスは高台のコースに変更します。</p> <p><自力通学中> (イ) 徒歩で通学する生徒は、自宅が近い場合は自宅に戻り、学校が近い場合は学校へ向かいます。 (ウ) 交通機関が停止した場合は、乗務員の指示に従います。電話等で家族や学校に連絡が取れる生徒は連絡します。 * いずれの場合も通学経路に学校から援助隊を派遣します。</p> <p><事業所の送迎中> (エ) 自宅へ戻れる場合は自宅へ戻ります。</p>	<p>② 生徒と連絡がとれた場合は、保護者と学校で連絡をとりあい、状況を確認します。</p> <p>③ 保護者と事業所で連絡しあい、学校へ安否を知らせてください。</p>
<p>C 在校時</p>	<p>1 学 校</p>	<p>(ア) 安全な場所に避難します。学校に災害対策本部を設置し、対応にあたります。 (イ) <u>S B の運行、児童生徒のみの下校はしません。「保護者の引き取り」とします。保護者は学校（または武山中学校）へ迎えに来てください。迎えが来るまで避難しています。</u> 学校は高い所（標高 42m）にあるため、津波からの避難は行いません。 (ウ) 分教室の生徒は津久井浜高校の避難指示に従い対応します。</p>	<p>① 学校から<災害用伝言ダイヤル、安心メール>で状況・対応をお知らせしますので、確認してください。</p> <p>② 分教室と本校は連絡をとりあい、状況を確認します。<災害用伝言ダイヤル、安心メール>で状況・対応をお知らせします。</p>
	<p>2 校外活動</p>	<p>(ア) 現地の指示に従い、避難場所へ避難します。学校へ戻れる場合は戻ります。電話等が使える場合は、学校と連絡をとりあい、対応を確認します。 (イ) 現場実習中は、実習先の避難指示に従います。</p>	<p>① 学校から<災害用伝言ダイヤル、安心メール>で状況・対応をお知らせしますので確認してください。 ② 実習先と連絡をとりあい、安否確認をします。</p>
<p>D 下校時</p>	<p>1 S B 出発後</p>	<p><S B 運行中> (ア) S B は安全な場所に停車し、学校へ連絡、指示を受けます。学校へ戻れる場合は学校へ戻ります。学校へ向かうことができない場合は、近くの避難場所へ移動します。海岸線を走行するバスは高台のコースに変更します。</p> <p><事業所の送迎中> (イ) 学校へ戻れる場合は学校へ戻ります。戻れない場合は、学校と家庭へ連絡後、近くの避難場所へ移動し、家庭や学校からの迎えを待ちます。</p>	<p>① S B へ学校から援助隊を派遣します。 <災害用伝言ダイヤル、安心メール>で状況を確認してください。</p> <p>② 電話等が使えるれば、各事業所は保護者と学校へ連絡します。<災害用伝言ダイヤル>学校から家庭へ安否確認をします。</p>

D 下校時	2 徒歩帰宅中	＜自力通学中＞ (ア) 徒歩で帰宅する生徒は、自宅が近い場合は自宅へ向かい、学校が近い場合は学校へ戻ります。	①＜災害用伝言ダイヤル、安心メール＞で状況・対応をお知らせしますので確認してください。 ②生徒と連絡がとれた場合は、保護者と学校で連絡をとりあい、状況を確認します。
	3 電車・バス乗車前	(イ) 電車・バス乗車前の場合は学校へ戻ります。	
	4 電車・バス乗車後 や校外学習解散後	(ウ) 交通機関が停止した場合は乗務員の指示に従います。電話等で家族や学校に連絡がとれる生徒は連絡します。 *いずれの場合も通学経路に学校から援助隊を派遣します。	

4 東海地震に関する情報や警戒宣言が発表された場合。

(1) 東海地震とは

東海地震は、前兆（地震前の異常な現象）が検知できる可能性があると考えられている東海沖を震源とする地震です。東海地方では常に地震データを観測しており、気象庁ではこれら得られた情報から危険度を決め、「東海地震に関連する情報」を発表します。神奈川県内においては、東海地震が発生すると全県において震度5弱以上の揺れが想定されます。

(2) 東海地震に関連する情報について

「東海地震に関連する情報」には、【東海地震予知情報】、【東海地震注意報】及び【東海地震に関する調査情報（臨時）】の3種類があります。テレビやラジオ、市町村の防災放送などで発表されます。（各情報発表後、東海地震発生のおそれなくなったと判断された場合は、その旨が各情報で発表されます。）

情報名	情報内容	主な防災対応等	交通機関の対応	学校での対応	保護者の対応
東海地震予知情報 (レベル 赤)	東海地震が発生するおそれがあると認められ、「警戒宣言」が発せられた場合に発表される情報	<ul style="list-style-type: none"> 地震災害警戒本部の設置 津波や崖崩れの危険地域からの住民避難 交通規制の実施 百貨店等の営業中止 	<ul style="list-style-type: none"> 強化地域内(※)の鉄道・バスは原則として運転中止 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が引き取りに来るまで生徒を学校（西棟）で保護することを原則とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 「東海地震予知情報（警戒宣言）」、「東海地震注意報」が発表された場合、速やかに学校へ児童生徒を迎えに来てください。
東海地震注意情報 (レベル 黄)	観測された現象が東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表される情報	<ul style="list-style-type: none"> 「防災準備行動」の実施 必要に応じ、児童生徒の帰宅等の安全確保対策 救助部隊、救急部隊、消防部隊、医療関係者等の派遣準備 	<ul style="list-style-type: none"> 原則として平常運行 		
東海地震に関連する調査情報 (レベル 青)	東海地震に関連する現象について調査が行われた場合に発表される情報（臨時）	<ul style="list-style-type: none"> 観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査状況を発表 	<ul style="list-style-type: none"> 防災対応は特になし 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集に努めながら、平常通りの活動を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表後、情報収集に努めてください。
※強化地域(=東海地震に係る地震防災対策強化地域) 平塚市、小田原市、茅ヶ崎市、秦野市、厚木市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町(神奈川県内のみ表示)					

【災害用伝言ダイヤル 171】

災害時など電話での連絡が困難な場合、NTTが提供する災害用伝言ダイヤルを用いて、学校からの情報を発信します。
利用方法は次のとおりです。

<操作方法> ※固定電話・携帯電話から利用可能です。

- ① 「171」をダイヤルします。⇒ガイダンス音声がかかります。
- ② 「2」（暗証番号なし）を選択します。
- ③ 「伝言内容を確認したい電話番号」を入力します。

学校 情報	1 本校情報	046-856-5800
	2 分教室情報	046-848-2137
S B 情報	3 赤(逗葉コース)	046-856-9680
	4 青(三浦コース)	046-856-9683
	5 黄(中央)コース)	046-856-9684
	6 橙(佐原コース)	046-857-9687
	7 紫(浦賀コース)	046-857-9689
	8 緑(久里浜コース)	046-856-5805

★ 確認したい電話番号を入力すると、必要な情報を聞くことができます。

例1) バスに乗らない児童生徒の情報

「171」⇒「2」⇒「046-856-5800」

例2) 赤(逗葉コース)の情報

「171」⇒「2」⇒「046-856-9680」

例3) 分教室の情報

「171」⇒「2」⇒「046-848-2137」

<注意事項>

※ 再生のみでお願いします。

※ NTTが「災害用伝言ダイヤル」を開設していないときは利用できません。

- ④ プッシュ式の電話では、「1#」を押すと⑤に行きます。
ダイヤル式の電話ではそのまま⑤に行きます。
- ⑤ 「新しい伝言をお伝えします。」と流れ、ガイダンス音声（伝言内容）がかかります。
- ⑥ 「お伝えする伝言は以上です。」と流れ、自動で終話になります。

※武養安心メールへの登録もお願いいたします。（「武養安心メール」への登録のお願いをご参照ください。）